# 後期基本計画 令和　３年度 基本施策方針書

政　　策　：　０４　ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち
基本施策　：　０６　効率的な汚水処理施設の整備・維持管理

| | |
|---|---|
| 主管課長職・氏名 | 下水道課長　古前田　聡 |
| 関係課長職・氏名 | |

## １．基本施策の実現状況を明らかにする

### （１）基本施策が４年間でめざす姿

公共下水道と合併処理浄化槽を適切な役割分担で計画的に整備し、それとともに既存施設の老朽化への長期的な対応を計画する必要があります。また、汚水処理事業を将来に渡り、安定・持続させる必要があるため、効果的な資源の投下、採算性を考慮した経営を実施していきます。

### （２）基本施策目標値の達成状況

| No | | この基本施策に関わる基本施策目標指標 | 基準値 | 上：戦略目標見込値／下：達成値 | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 | 進捗率(%) |
| 1 | 暮らし | 水洗化率 | | | | | | | |
| | | 単　位　% | 82.2 | 81.9 | 82.9 | 84.1 | 84.4 | 84.4 | － |
| | | | | 83.3 | 0 | － | － | － | 0.0 |
| 2 | 幸福 | 滝沢市に愛着がある人の割合 | | | | | | | |
| | | 単　位　% | 69.2 | 75 | 77 | 78 | 80 | 80 | － |
| | | | | 69.1 | 0 | － | － | － | 0.0 |
| | | 単　位 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

### （３）基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

| No | | 施策名 / 施策目標指標 | 基準値 | 上：戦略目標見込値／下：達成値 | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 | 進捗率(%) |
| 1 | 暮らし | 04060100 環境にやさしく快適な下水道の整備 | | | | | | | |
| | | 水洗化率 | | | | | | | |
| | | 単　位　% | 82.2 | 81.9 | 82.9 | 84.1 | 84.4 | 84.4 | － |
| | | | | 83.3 | 0 | － | － | － | 0.0 |
| 2 | 暮らし | 04060200 下水道経営基盤の充実 | | | | | | | |
| | | 経営資本営業利益率 | | | | | | | |
| | | 単　位　% | △0.64 | △0.7 | △0.6 | △0.5 | △0.64 | △0.64 | － |
| | | | | △0.4 | 0 | － | － | － | 0.0 |
| | | | | | | | | | |
| | | 単　位 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | 単　位 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | 単　位 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

# 後期基本計画 令和　３年度 基本施策方針書

政　　策 ： ０４ ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち
基本施策 ： ０６ 効率的な汚水処理施設の整備・維持管理

| | |
|---|---|
| 主管課長職・氏名 | 下水道課長　古前田　聡 |
| 関係課長職・氏名 | |

## ２．基本施策の実現に向けての現状を認識する

### （１）基本施策目標の進捗状況分析

・令和元年度末の行政人口に対する下水道供用開始可能人口の割合を表す汚水処理人口普及率は、公共下水道で69.5%となり、合併処理浄化槽や団地ごとの集合処理施設を併せた整備率は、全体で87.0%となっています。
・平成27年度に移行した公営企業会計は、わずかながらも黒字を計上していますが、財務比率である流動比率が58.3%と依然として低く、資金力が弱い体質となっています。

### （２）基本施策の実現に影響する社会環境変化

少子高齢化による人口減少や節水型社会による汚水量の減少により使用料収入の減少が危惧されます。また、施設の老朽化による維持修繕費の増大や災害による突発的な負担も懸念されています。汚水処理事業を長期安定させるためには、資金の確保、経営の合理化やアセットマネジメントなどが必要となります。

### （３）政策との関連性

政策である「ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち」を実現するため、良好な環境衛生を保持する汚水処理を持続させる必要があります。

## ３．基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

### （１）基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

・既存の公共下水道の適正な維持修繕、長期サイクルでの施設管理を計画し実施していきます。
・合併処理浄化槽設置に係る助成、融資あっせんなどによる汚水処理普及率の向上と下水道施設の効率的利用を図ります。
・費用対効果を重視した整備、不明水対策、供用開始後の確実な使用料の回収などのコストを意識した取り組みを推進します。
・下水道使用料の定期的な見直しを４年ごとに実施し、経営の安定を図ります。

### （２）基本計画期間内の取り組みと方針のうち、令和 3年度の重点課題

・事業の諸経費及び工事コストの縮減に継続して取り組みます。
・下水道使用料や受益者負担金等の収納率向上に継続して取り組みます。
・整備計画の変更や維持管理計画の策定に着手します。

### （３）基本計画期間及び令和 3年度重点課題に基づく優先順位の考え方

既存施設の確実な管理と着手している地区の整備完了を最優先とします。また、持続可能な下水道経営を実現するために今後の効率的な整備や施設改修を計画し、負担の公平性の確保の観点から下水道使用料や受益者負担金などの収納を徹底します。

# 後期基本計画 令和　３年度 基本施策方針書

政　　策　：　０４　ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち
基本施策　：　０６　効率的な汚水処理施設の整備・維持管理

| | |
|---|---|
| 主管課長職・氏名 | 下水道課長　古前田　聡 |
| 関係課長職・氏名 | |

（４）所管施策別事業計画表

| No | 施策名 | 施策別事業費計画額 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 令和 3年度 | 前年度 | 比較（%） | 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | ４ヵ年計 |
| 1 | 04060100　環境にやさしく快適な下水道の整備 | 607,237 | 789,148 | △23.1 | 562,824 | 614,939 | 618,484 | 2,403,484 |
| 2 | 04060200　下水道経営基盤の充実 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 04069000　【4-6 基本施策目標値入力用】 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 |